



10/21 (木) 市行政相談委員、
「総務大臣表彰」受賞

本市の行政相談委員である津波古重男氏が、これまでの活動を評価されて10月13日に「総務大臣表彰」を受賞し、その報告が市役所で行われました。

行政相談委員は、民間の有識者の中から総務大臣により委嘱され、行政に対する苦情等を受け付け、その解決のために助言等を行っています。津波古氏は平成11年に委嘱を受け、これまで数多くの苦情等に対応しています。

津波古氏は「市民からのいろいろな相談を受け、多くの部署に相談し、これまでスムーズに仕事ができたと感謝しています。これからもご支援よろしくお願いします」と、挨拶しました。



11/4 (木) 更なる連携強化で
暴力団排除を目指します！

市が発注する公共工事において、受注者が暴力団等からの不当要求を受けた場合に警察署、発注者(市)への通報を義務付ける「市発注工事における暴力団員等による不当介入の排除手続きに関する合意書の締結」が行われました。通報義務に違反した受注者は指名停止措置を講じるなど、暴力団を排除する取組を強化しています。

親川啓和署長は「安全、安心なまちづくりを目指して行政と市民の協力を密にして暴力団排除に努力していきたい」と述べました。

市と浦添警察署では、8月に「市営住宅の使用制限に関する協定書」も締結していて、更なる連携強化が期待されます。



10/17 (日) スター選手の高さと
スピードに圧巻！！

市制施行40周年記念事業として、「はつらつまママさんバレーボールinうらそえ」が浦添市民体育館で開催されました。東京オリンピック金メダリストの河西昌枝さんを始め、大林素子さんなど、元全日本選手らで構成されたドリームチームが、選抜チームである美寿クラブ、浦添市クラブ、牧港ペアーズと熱戦を繰り広げ、会場は大きな声援に包まれました。試合結果は、ドリームチームが全セットを奪い、元日本代表の貫ろくを見せました。

またイベントでは、バレーボール教室や「スパイクで百発百中」などのアトラクションも行われました。



11/3 (文化の日) いにしへの街道を歩く

尚寧王(しょうねいおう)によって改修された、かつての街道(浦添グスク～首里城)をたどりながら、周辺の文化財への理解を深めてもらうことを目的として、「歴史ロマン街道～「尚寧の道」をたどる～」が開催されました。

参加者206名は、「浦添グスク」を出発して「安波茶橋」や新たにコースに加わった「浦添御殿の墓」などの街道沿いの文化財を「うらそえ歴史ガイド」の説明を聞きながら見学し、首里城までの全長約5キロのコースを歩きました。

当日は晴天に恵まれ、参加者は楽しくウォーキングしながら、首里王府と浦添の関わりについて学びました。



11/5 (金) 親が変われば子どもも変わる

「親学で、より良い地域社会の実現を」をテーマに第34回浦添市社会教育研究大会が市ハーモニーセンターで行われました。

大会では「子育ては、親育て」をテーマとしたシンポジウムが開かれ、行政、教育現場、父親、母親のそれぞれの立場から4名の発表がありました。行政からは「親学とは親としての学び、親になるための学び」であることや、市の取組として「親学まなぼう3年プラン」の説明がありました。また、幼稚園教諭の立場から「園と家庭との連携した継続的な取組の必要性」などの話や、保護者の立場として実際の子育てから分かる「子育てのポイント」などの紹介がありました。

大会では甲子園で春夏連覇を果たした興南高校の我喜屋優監督の講演もあり、日常生活の基本を重視した指導や甲子園での裏話などユーモアたっぷりのトークで会場を沸かせました。



10/24 (日) 身近なところからエコを
はじめよう！

市民一人ひとりがライフスタイルを見直し、ゴミの減量化や資源化、省資源・省エネルギーに取り組むことで人と環境に優しいまちづくりを目指した「第7回わくわくリサイクルまつり」が市リサイクルプラザで開催されました。

イベントでは、リユース家具・自転車の抽選販売やダンボールを使った堆肥作りなどのほか、「古着でさき織り」、「木っ端でクラフト」など、親子で楽しめる体験教室も開かれました。参加者からは「簡単に作れるし、リサイクルにもなるのでとてもいいと思う。手作り感があってプレゼントにもいいかもしれない」などの声が聞かれました。



10/4 (月) 地域に根ざした人権擁護活動

浦添市人権擁護委員委嘱状伝達式が行われ、新任、再任された委員に法務大臣からの委嘱状が手渡されました。人権擁護委員は、人格見識の優れた人として地域住民の中から選ばれ、市民の日常生活に接しつつ、人権啓発、人権相談、その他人権擁護のための適切な救済活動を行っており、本市においては12人の委員によって構成されています。

また、10年近く委員として活躍し、今回退任した名嘉栄子氏への感謝状贈呈式も同時に行われました。名嘉氏は「委員になっていろいろ勉強させてもらい感謝しています。一生の宝を得た思いです」と、話していました。